



同窓生とともに

会長 湊 くに

岡田千代野ー本田力子ー倉田錦
江ー白井スエノーと四代の会長の
膝元で教えをうけ、副会長として
微力ながらやっとの思いで今日ま
でたどり着きました。創立六十周
年の記念すべき年に会長に就任さ



せていただきました。

ふりかえれば、子供を背に自転
車に乗り毛糸を売り廻ったり、森
本静子先生の御自宅で、熱心なミ
ーティングをしたり、軽井沢の高
原寮ができたときに現在の食堂の
片隅にフトンを敷いて美しい夜空
の星をながめて眠ったり、学園内
に同窓会の特定の部屋がなく事あ
る毎に荷物や書類を持って仕事を
していた幹事の姿が浮かんで来ま
す。

この頃よくキャリアウーマン！
たくましい女性と言う言葉を聞き
ますが、私は人間的な強さは昔か
ら女性のものではなからうかと思
います。男性には指導力があり、
それを女性に指図になって援助し協

63年度観劇会で

湊 会長

力し、初めて成功が生まれます。そ
の様な生活のたくましい姿にはず
っと接して来た様に思います。同
窓会も長い間苦楽を共にした同窓
生、そして現在は協力的な理事會
の運営により、この頃の目ざまし
い発展を見ることが出来ます。

学園理事の絶大な御尽力により
すばらしい同窓会館を六十周年の
記念事業の一つとして設立してい
ただきました。その中で嬉嬉とし
て働いている同窓生の姿を見る時
感慨無量、感謝の気持ちで胸が一杯
です。

私の頭の中には常に、活らく頭、
いそむ双手、明るい心、学園で
学んだ三日精神があります。自由
の行手いかに曇るもおとめは笑い
てただ拓き行く。今から六十年前
にこんな進歩的な校歌が生れてい
るのです。若い頃から何にも考え
ずに一生懸命歌っていた校歌が、
この頃は歌っている間必ず涙が出
て来てしまうのです。年老いたの
でしようか。世の中の変化がそう
させるのでしょうか。

教育の基礎は今も昔も決して変
ってはいないと思います。一つの
仕事に無我夢中になれる人は幸福
と思いますが、自分の立場を考え
て気持ちの切替えの出来る人になっ
てほしいのです。

歴代からの会長はみなさん母校
愛に燃えておられました。お盆で
故郷に帰る老若男女の数も年々増
えております。どうぞ我が母校、

心ふるさとにも立寄って下さい。
お待ちしています。

各県の支部長様方にもいろいろ
お骨折りいただいておられます。紙
上を借りまして厚くお礼申し上げ
ます。
クヨクヨ後をふり向かないで、
前進前進！一に体力、二に体力。

湊新会長のご就任によせて

高校幹事長 小口 幸子

極的にご参加、ご協力下さる様に
なり、私共幹事は大変心強く喜ん
でおります。
昨年十月の総会で、前会長白井
先生がご勇退され、新会長に湊先
生が迎えられました。
白井先生は長い間、至らぬ私共
を優しくお導き下さいました。又、
湊会長はいつも両手で暖く包んで
下さるような心の広い先生でいら
っしゃいます。

私も幹事長という大役をお受け
して二代の会長にお仕えること
になり、年数だけを重ねているこ
とに気恥かしく思っております。
力のない私を、ここまで支えて下
さった代表幹事の方々を始め、皆
様方のご協力に心から感謝してお
ります。
新会長の湊先生は、附属高女か
ら日体大を卒業され、長い間麹町
学園で教えられ大活躍された頑張
りやの、文字通りの肝っ玉母さん
そのもの。大変ふくよかで、スキ
ー、水泳その他体育に張り切っ
て居られる方、百米は何秒で走れる
かしら……。ストッブウォッチ持
ってついて歩きたくありませんよ
ゆめゆめお膝を痛められませぬよ
うに。元気で号令をかけて下さい。

次年度の総会予定

来年度の総会は六月頃予定して
おります。多数の皆様のご出席を
お待ちしております。

各部会の動き

経専部会開催

経専二十一期 篠原 初江

八月二十九日 出席者二十名
於 湯西川温泉伴久ホテル

一、会長挨拶 湊 くに会長
一、経専部会の活動について

○事業報告、会計報告
○今後の在り方について

篠原初江経専幹事長
一、学校の近況報告

森本晴生常務理事
中川 悦短大教授
黒沢教子中・高校長

一、司会 青木純子副会長
右のように同窓会本部旅行に参

加して、夕食後一時間程部会が行
われ、活動や経専部存続について

活発に話し合われました。
経専部会は増える事なく、毎年

二・三人の訃報が寄せられ、真に
淋しい限りです。少ない人数です

が、年に三回の年中行事のお手伝
いがあります。

一、観劇会の切符を売ること
二、泉の発送の手伝い

三、学園祭の売店の手伝い
これに要するにボランティアです。

母校発展のため、いつも同じ人で
なく、皆さんにお願いします。

学校も古い校舎が建て替えられ

立派になり、同窓会館も出来上り
学園祭の折には同窓生の作品の展
示場もありますので、出品をお待
ちしています。

経専部の学園祭手伝いは二日
です。旅行で盆子焼をされた方

は展示しておきますので受け取り
にどうぞ……。どう出来たやら楽

しみです。普通の日でも地方の方
も同窓会館にお寄り下さい。遠く

の方は寄附でも結構です。将来あ
る教育のためにも、経専部の皆様

をお願いします。又、良いご意見
をお聞かせ下さい。

高女部会旅行記

高女十三期 星 信子

八月二十二日、森本篤子先生、
湊会長、長岡・青木副会長とこ

一緒に新宿を出発。
途中少林寺により、本堂までの

石段を見上げ溜息しきり。「参詣
せねば食事は差上げられません。」

との住職の言。本堂に参拝。住職
から黄蘗普茶料理の伝来(解説)、

菜箸(献立)、五観の偈(作法)
を拝聴し十二種のお料理を美味し

くいただき満腹。
車は碓氷パイパスを一路寮に向

う。夕方寮到着。森本晴生先生
(厚吉先生のお若い頃そっくり)

の出迎えを受ける。
心のこもったバラエティに富ん
だお料理の数々。どれもとても美

味しい。食堂も広くなり、宿泊棟
も山小屋風建物が増築され、夫

々の部屋では話も盡きず夜は更けて
ゆく。

翌二十三日は天気上々。焼き
立てのパンのおいしいこと。和

洋とりまぜての朝食。準備下さ
る方は朝早くからご苦労さま。

八時半晴生先生はじめ皆さんの
お見送りを受け出発。和田峠を越

え、ウイナスラインを快走。
霧ヶ峰自然保護センターに到着。

霧ヶ峰の手作りの三色弁当を戴き、セ
ンターで霧ヶ峰の四季の植物の映

画を鑑賞する。
十二時出発。大門峠を越え、中

央道をぶどう園目指す。浅園園に
ついて完熟の房を選んで味わう。

五時半ホテルマウント富士に到
着。山中湖を見下す丘の上のすて

きなホテル。グループ毎にゆっく
り食事できてよかった。

小雨の中を十時出発。竜坂峠を
過ぎ、乙女トンネルを出ると雨は

止み天気回復、箱根山のホテルで
松花堂弁当の昼食。

昼食後箱根湿生花園を一周、松
虫草、かわらなでしこ等の花が可

憐に咲いている。あざみの歌の碑
もある。

車中、一同心を合せて校歌を合
唱する。予定通り五時に新宿到着
し解散。

本当に楽しかった高女部の旅行。
参加の皆様有難う。お世話様でし



霧ヶ峰にて 高女部会

第二十三回 医技卒業生 小島三郎記念技術賞

医技卒業生 三名が受賞

医技十一期 小栗 豊子

第二十三回小島三郎記念技術賞
の受賞式が去る五月十四日(土)、

東京の野口英世記念会館で行われ
た。本年の受賞者は五名で、この

中三名が本学卒業生であった。小
島三郎記念技術賞は臨床検査の分

野での新技術の開発など、著明な
業績に対して与えられる賞である。

受賞者とその業績は左記のとおり
である。

藤原ムチ氏(昭和三十四年卒)
業績「HbS抗原・抗体検出法の

改良と普及」。藤原氏は日赤輸血

研究所、東京女子医大輸血部に於
て長年輸血検査に従事され、B型
肝炎の感染防止に尽力された。特
に輸血用血液のHbS抗原、抗体
検索にいち早く取り組み、免疫
電気泳動法の支持体を改良された
り、輸血による肝炎防止のスクリ
ーニング検査にS-I GOT、S-I
GPTの測定を導入するなど、輸
血時感染防止に尽力された。

山岸安子氏(昭和三十八年卒)
業績「異常免疫グロブリンの定量
とCRPの微量測定技術開発」。
山岸氏は日大駿河台病院、自治医
大中央検査部において免疫学的検
査に従事され、異常免疫グロブリ
ンの定量とCRPの微量測定に関
する研究に尽力された。特にCR
Pの微量測定の研究とその標準化
についての検討は、血清蛋白測定
法の向上・発展に大きく貢献した。
現在自治医大中検の副技師長とし
て活躍中である。

渡辺信子氏(昭和三十八年卒)
業績「尿、脳脊髄液中の微量蛋白
測定法の開発」。渡辺氏は本校卒
業後、東大病院中検に勤務され、
日常業務の傍ら微量蛋白測定法を
検討された。特に尿蛋白定量法に
於て、ピロガロール・モリブデン
錯体法を開発されたが、これは広
濃度域の蛋白の定量が可能であり、
自動分析機器への応用も可能であ
るなど日常検査の向上、発展に貢
献したことが受賞のきっかけとな
った。

高校部総会

三十七回卒 (旧姓 佐藤) 長谷川優子

去る六月十九日(日)正午より初夏の日差しがさわやかな新築の色彩豊かな桃園校舎で、同窓会高校部総会が開かれました。

今回の総会は今年四月に校長に就任なさいました黒澤教子先生のお祝いを兼ねて、教子先生、信男先生をお迎えし、盛大に行われました。黒澤校長は、たくさんの花束と記念品を手渡され、大変喜ばれておりました。

私共は、三十数年前に高校を卒業しましたが、その時の先生と全



東京文化短期大学同窓会

短大部会

高輪プリンスホテルにて

くお変わりなく、私共だけが年をとってしまつたように思いました。なぜ、あんなに若々しくいつもお元気でいられるのでしょうか。

黒澤校長のお話の中に、今も「3日の建学の精神」すなわち活らく頭、ひろき心、勤しむ双手、そして、国際的な視野を持ちつつ日本文化を尊敬する女性に、そして、生活の合理化を推進する創造力と実行力豊かな人にと、いつも思いつつ、教育をしていらつしやるといふお話がありました。

そのことを、黒澤校長自身、実行していらつしやるのだと思ひます。いつも前向きに、人生を歩んでいらつしやる校長。立派に母となり、妻であり、嫁であり、校長もやりと、いく通りもの役割をしていらつしやる先生を、改めて尊敬致しました。私自身を振り返ってみても、とても黒澤校長のようなすばらしい女性には、なれないだろうと反省致しました。これからは、少しでも黒澤校長のような女性になるよう努めたいと思つております。

祝賀会も盛り上がり、正午より四時頃まで思ひ出話を花を咲かせました。これからも黒澤校長は、以前と変わらずに生徒達の良き相談役となり、学園の母として、東京文化が発展するよう勤めていただきたいと思ひます。本当に楽しいひとときを過ごさせていただきました。ありがとうございます。

短大部会

三十三年卒 小宮山寿々子

朝から雨がふりつづいた六月二十五日、二年に一度の短大部会を高輪プリンスホテルで開きました。雨の中、佃先生、森本先生、中川先生、沢野先生の御出席を得て、同窓生も予想以上に御出席いただきました。

卒業後三十年ぶりにはじめて同窓会に出席した方があったこと、又昔、桃園寮に入つて通学していた方々も連絡をとり合い、遠く熊本県、青森県などから、多数お集りいただけたことも、大変うれしゅうございました。

昭和二十九年卒から六十二年卒まで幅広い方々が一堂に会し、いろいろな縦のつながりもあり、楽しく話し合える場として同窓会のすばらしい意義を感じました。私の席には今年御卒業のお若い同窓生が御一緒にいたが、卒業後、各方面で活躍なされた方、又主婦業で子供の受験をかかえていたり、年老いたお姑さんの看病で家をあけられないと言われる方、又ようやく子育ても終わったので、これから自分の時間を楽しみたいと遠くから飛行機で訪れて下さった方方にとつて同窓会が楽しい集いの場になつてほしいと思ひます。

卒業生のお一人が、最近、俳句をよんでいらつしやると言うこと

で、一句よんで下さいました。葉さくらや

声かわらずの同窓会

村上 恭子様

(久しくお逢いしないで、顔はやや忘れていたのに、声を聞いて二十数年前の姿を思いだすことが出来た。)

今後の短大部会を、同窓生の御協力を得、ただ昔をなつかしむだけの会ではなく、充実している学校の間をお借りしたり、同窓会室を使わせていただいたりして、卒業生の皆様の経験を生かし、生涯教育の場として益々意義のある同窓会にしたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

十数年ぶりの小学校同窓会

二十九卒 森本 光生

去る五月二十一日(土)午後三時から十数年ぶりに東京文化小学校同窓会が開かれました。これは小学校も今年三月で創立四十年になったのを記念してのことです。今回は一期生から二十五期生までの社会人である年令の卒業生だけを対象にしました。会場は、現在の和田新校舎を知らない方々のために、小学校講堂としました。

当日の出席者は予想外に少なかつたのですが、小学校の橋本校長先生、永山義夫先生、中島栄司先生、岡千枝子先生など恩師の先生方が出席して下さい、また、旧教員の

小松富美恵先生もはるばる駆けつけて下さり、総勢で四十名の懐しさ一杯の会になりました。

新しい先生方や参加者の紹介に始まり、給食室で作られたオールドブル、おすし、フルーツのきれいな盛り合わせ、ビール、ジュースなど飲んだり食べたり、その上、名前ビンゴゲームに入り乱れて打ち興じ、更にゲームの賞品まで頂き、二時間ほどで閉会となりました。会費がたったの千五百円とは信じられない程の内容でした。会終了後、永山先生、小松先生他十五人ほどで、中野近くで三次会まで盛りあげました。

小学校の卒業生も学園同窓会の会員になつていますが、年令的な隔たりもあり、特に男子卒業生の場合、女性の中に入ることに大きな抵抗があつて、会に出席できなかったことと思ひます。クラス会では活発に開いているもの、全体でのつながりは殆んどなく、淋しいことでした。

今回の小学校同窓会は、小学校に全面的にお膳立てしていただきましたが、こんなことでは申しわけない、年一回は卒業生の主催で同窓会を開こうと席上決まりました。来年は五月二十日(土)に予定しており、一、二期生が幹事と決まりました。今回出席できなかった方々も来年の会には是非おい下さい。小学校卒業生の輪を大きくしたいと思ひます。

同窓会総会

六十二年十月十八日(日)、母校創立六十周年記念を兼ねた同窓会総会が開催されました。当日は晴天に恵まれ、約百名の同窓生が出席し、旧交を暖めました。

第一部の会場は、新築の短大図書館三階、七番教室。青木副会長の開会の辞、白井会長のご挨拶に続いて議長選出が行われ、長岡理事が議長となり、議事が進行されました。

各担当理事による事業報告、決算報告、監査報告が終了後、役員改選に移りました。新役員は理事会の推薦どおり、全員一致で次の会 長 湊 くに(前副会長)、副会長 青木純子(留任)、

会計監査 桜庭法子(留任) 赤木君江(留任)

長岡 文(新任) 長岡 文(新任)

白井会長は昨年暮から健康上の理由により辞意を表明され、理事会の慰留も固く辞退されました。

理事会では検討を重ねた結果、白井先生のご健康のためにはやむをえないと判断し、後任に湊先生を推したものです。

湊新会長の力強い就任挨拶に続いて、各幹事長並びに遠方からお見えになった支部長の紹介があり、湊会長の提案により、全員一致で白井前会長が名誉会長に推薦されました。

新年度予算案が原案どおり可決され、予定の議事はすべて終了。休憩をはさんで白井前会長より学園大久保理事長へ創立六十周年祝賀寄付金の贈呈式が行われ、理事長からお礼のご挨拶と学園の近況報告がありました。引き続き、短大の学長佃先生はじめ各学校の校長先生・教頭先生方にご挨拶と



挨拶する湊会長

活動状況をお話しいただき、あらためて母校の発展に目を見張る思いでした。

最後に湊会長から白井前会長に記念品と花束が贈呈され、長年にわたる先生のお骨折りに感謝し、今後もお力添えをお願いして第一部の幕を閉じました。

第二部は会場を第二カフェテリアに移し、短大の中川先生はじめ

昭和六十三年度

第一回幹事会開催される

春たけなわの四月二十二日、午後六時から学園第二カフェテリアで昭和六十三年度第一回幹事会が開催された。出席者一三八名、黒澤教子姉の司会により始められた。

湊会長は会長挨拶の中で、創立六十年を経た学園が益々発展することは卒業生として誠に喜ばしいことである。我々同窓会は幹事が一体となり「和」を大切にしてお互いを繁栄させ学園の発展に役立って行きたい、と抱負を述べられた。

議事は先ず六十二年度会計決算報告および監査報告、六十三年度予算審議が行われ、全員異義なく原案どおり承認した。六十二年度の経費は、印刷を手作りで行って大幅に節減されたことなど種々の努力のあとが見受けられた。

次に会則改正案が提示された。現在の会則のうち現況に添わない

調理の先生方による、手作りのお弁当をいただいた大きな懇談会。なつかしい先生方にもご出席いただき、思い出話がはずみ、空くじなしの抽選会も色を添えて、本当に楽しい一日でした。

この総会を開催するにあたってご尽力いただいた同窓生の皆様から心からお礼を申し上げたいと思います。

同窓会支部長会

副会長 長岡 文記

七項目についての改正が審議され、全員意義なく賛成し会則を改正することに決まった。(五頁参照)

ここで各校の幹事長により本年度新幹事の紹介が行われ、二十一名の新幹事が就任した。

事業部からは恒例の観劇会について発表があった。本年は例年とは時期が異なり九月十七日(土)芸術座にて向田邦子作、石井ふく子演出の「幸福」を鑑賞することとなり各校に抽選で切符が渡された。

ついで学園祭への参加について例年通り行う予定で、一同の協力が要請された。特に昨年より始められた同窓生の作品展示即売会は更に多数の参加が望まれているので、広く会員に声をかける様にとのことであった。

第三回同窓会支部長会が十月十七日(土)午後、学園桃園校舎で開催されました。当初は隔年に開催の予定でしたが、創立六十周年記念事業関連工事が間に合ったためにのびのびになり、四年ぶりに開催されたものです。

今回は桃園寮跡に新築・移転した医学技術専門学校、ビジネスアカデミーの校舎披露を兼ねて、会場を桃園校舎としました。

当日の出席者は各地からお集りいただいた支部長の皆様と、同窓会役員、学園の理事長はじめ理事、各学校校長、卒業生の先生方など、三十名にものぼり、和やかな歓談が行われました。ご出席いただいた支部長は次の方々です。

木村正枝(青森)、星信子(山形)、山崎さち子(長野)、友枝節子(岐阜・代理)、柳田睦子(岡山・代理)、鎌田徳子(愛媛)、龍久仁子(福岡)、中村民子(宮崎)、目崎晶子(新潟)、大館修子(愛知・代理)、山田泰子(岩手)

以上 敬称略 順不同

同窓会国内旅行

湯西川温泉と益子焼を訪ねて

高二十八回卒 前田 絹子

八月二十九日、出発予定時間八時を少しまわった頃、私共一行四十名を乗せたバスは、湯西川温泉に向って新宿を出発しました。

一昨年、十和田湖への旅行が大変楽しいものでしたが、昨年は初孫にかきまわされて残念ながら欠席しましたので、今年行く先もあまり確かめずに参加申し込みをいたしました。

私共の中三のときの修学旅行が日光でしたが、バスは「いろは坂」を逆に下って、東照宮の前を素通りして、東武日光駅に向う道に入りまして、修学旅行の折、雨にぬれながら、お土産の入った重い荷物を持って歩いた日がよみがえりました。

鬼怒川の温泉街を通り、龍王峡の橋を渡り、五十里湖から湯西川にそって三十分ほど全く人家のない道に入りました。湯西川温泉は平家の落人が隠れ住んだ里と聞いておりましたが、林をぬけた所に飛騨の白川郷や五箇山のように人家が見えました。私共の泊る所は平家直孫二十五代目の経営する伴久ホテルでした。夕食は、温泉につかったあとの炉端での落人鍋や落人焼に汗をか



楽しい粘土細工

帰りは宇都宮から益子に入り、始めての陶器作りにわくわくしました。仕上げを窯元の方にまかせて帰途につきました。

友と来て益子焼焼く夏の旅(珠)

先生方や幹事の皆様、ありがとうございました。

会則の改正

さる四月二十二日の第一回幹事会で会則改正が審議され、次のように決まりました。これは、ビジネスアカデミーから第一期生が来年三月に卒業することを受け、その他の現状確認の事項とともに会則第十二条に基づく緊急処理として決まったもので、この件は来年五月頃に開催される総会で追認を求めることとなります。

- ① 第三条の目的の一部を「社会に貢献すること」に改める。
- ② 第五条の卒業生の学校に「専門学校東京文化学園ビジネスアカデミー」を加える。
- ③ 第六条の部会で「専門学校の部」を「経専の部」に改め、「ビジネスアカデミーの部」を加える。
- ④ 第十四条の役員で「理事二十名」を「理事二十名以上」に改める。
- ⑤ 第十五条の特別功労者について「本会の特別功労者を名誉会長又は顧問とすることができ、特別の功労者とは理事会で認めたい人をいう。」に改める。
- ⑥ 第十九条の各部幹事長について「幹事長一名、副幹事長若干名」に改める。
- ⑦ 第二十八条の支部について、「地方支部を置く」に改める。

収支計算及び予算

収入科目	昭和62年度		昭和63年度	支出科目	昭和62年度		昭和63年度	
	予算	決算	予算		予算	決算	予算	
1 会費収入	3,191,000	3,191,000	3,136,000	1 通信費	120,000	111,515	120,000	
	小 5,000×27=	135,000	5,000×38=	190,000	2 印刷費	180,000	44,020	100,000
	高 5,000×232=	1,160,000	5,000×192=	960,000	3 会合費	350,000	297,805	350,000
	医 6,000×45=	270,000	6,000×58=	348,000	4 事務費	30,000	10,290	30,000
	短 6,000×271=	1,626,000	6,000×273=	1,638,000	5 会報会計へ繰出	1,200,000	1,200,000	1,200,000
		3,191,000		3,136,000	6 交際費	200,000	200,920	200,000
					7 支部費	100,000	105,300	120,000
2 受取利息	250,000	161,348	200,000	8 総会会計へ繰出	400,000	400,000	400,000	
3 雑収入	0	0	0	9 部会活動費	300,000	300,000	300,000	
4 年会費	1,400,000	1,596,000	1,450,000	10 入会記念品費	430,000	432,450	450,000	
5 前年度より繰越	355,183	355,183	363,311	11 役員交通費	200,000	153,000	200,000	
収入合計	5,196,183	5,303,531	5,149,311	12 人件費	560,000	560,000	560,000	
62年度末残高	1. 本会費	定期預金	現金	16,602,805	13 名簿部へ繰出	1,000,000	1,000,000	1,000,000
	2. 事業部	定期預金	現金	4,116,979	14 積立金	100,000	100,000	100,000
		販売品			15 予備費	26,183	24,920	19,311
	3. 名簿部	定期預金	現金	1,053,482	小計	5,196,183	4,940,220	5,149,311
	4. 会報発行部			267,644	次年度繰越		363,311	
					合計	5,196,183	5,303,531	5,149,311

“VERITAS VOS LIBERABIT”

「真理は汝等に自由を与う」(新約聖書ヨハネ伝8章)

沿革

- 昭和2年 女子文化高等学院を東京市本郷区元町(現文京区本郷二丁目)に創立する。役員は理事長に法学博士森本厚吉、理事・法学博士吉野作造、理事・医学博士橋本寛敏、学院長には森本静子が就任する。
- 昭和3年 専門学校令により女子経済専門学校と改称する。初代校長に新渡戸稲造、理事長兼副校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和6年 現在地所在の成美高等女子学校を引継ぎ、附属高等女学校と改称し、新渡戸校長が兼任する。
- 昭和8年 新渡戸稲造校長逝去により、副校長森本厚吉二代校長に就任する。
- 昭和9年 東京都中野区の現在地に移転する。
- 昭和18年 地方学生のために東京都中野区桃園(現中野区中野3丁目)に学生寮を開設、桃園寮と命名する。
- 昭和19年 東京女子経済専門学校と改称し、経済科・保健科・育児科を設置する。
- 昭和21年 英文科を設置する。附属幼稚園を開設する。
- 昭和22年 学制改革により、附属高女は東京経専中学校および同高等学校に分かれ、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和23年 東京経専小学校を開設し、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和25年 森本厚吉校長が逝去したため、森本静子が校長・園長に就任し、橋本寛敏が理事長に就任する。
東京文化短期大学(家政科)を設置し、学長に森本静子が就任する。東京経専高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園を東京文化高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園と改称する。児童研究所を新たに設置する。
- 昭和26年 学校法人東京文化学園を設立、理事長に橋本寛敏が就任する。従来の専門学校は発展的に解消する。
- 昭和27年 短期大学内に医学技術研究室を開設する。
- 昭和30年 東京文化医学技術学校を開設する。医学技術研究室は発展的に解消する。
- 昭和39年 森本武也が学長に就任し、森本静子は学園長に就任する。浅間高原寮を長野県御代田町に開設する。
- 昭和46年 任期満了のため橋本寛敏理事長が辞任し、大浜英子理事が理事長に就任する。
- 昭和47年 医学技術学校校長に医学博士守屋博が就任する。
- 昭和49年 幼稚園長・小学校長に鈴木光雄が、中学校長・高等学校長に土居孝輔が就任。理事長に大久保安威理事が就任する。
- 昭和51年 創立50周年記念事業の一環として杉並区和田一丁目に約3,300㎡の校地を購入する。
東京文化医学技術専門学校臨床検査学科と改称。
- 昭和52年 創立50周年記念式典を挙る。東京文化学園五十年史刊行
- 昭和53年 幼稚園長・小学校長鈴木光雄の逝去により、幼稚園長に森本先生が就任し、小学校長に永山義夫が就任する。
- 昭和54年 幼稚園・小学校新校舎が、杉並区和田1丁目に竣工し、二期から授業開始。
- 昭和56年 医学技術専門学校校長に医学博士福岡良男が就任。旧二号館、四号館、七号館を解体し、跡地に体育館を建設し、東グラウンドを整備し、9月から使用する。創立50周年記念事業を完遂。
- 昭和57年 小学校長に橋本正礼が就任する。
- 昭和59年 短期大学長・学務理事森本武也が退任し、名誉学園長に就任。短期大学長に理学博士佃正昊が就任する。幼稚園長に橋本正礼が兼務する。
- 昭和61年 桃園寮を閉鎖し、新校舎の建築を始める。短大八号館を解体。同窓会館を新築する。
- 昭和62年 桃園校舎を新築し、専門学校東京文化学園ビジネスアカデミーを開設し、校長に福岡良男が兼務する。医学技術専門学校を桃園校舎に移転する。短大二号館を増築する。
- 昭和63年 中学校長・高等学校長に黒澤教子が就任する。



創立者
森本厚吉先生



初代校長
新渡戸稲造先生

あなたの良き後輩としてふさわしい

学生・生徒・児童・園児の

ご紹介を!

募金のお礼

理事長 大久保安威

昭和二年に女子文化高等学院として創立した東京文化学園の同窓会は、全国に支部31か所、同窓会員数一万九千人余となりました。創立者森本厚吉先生、初代校長新渡戸稲造先生の建学の3日精神を實踐し、各方面で社会に貢献されている卒業生の活躍は、後進の者の誇りと、大きな励ましとなっています。

昨年創立六十周年を迎え、学園では森本記念館建築、桃園校舎建築「専門学校東京文化学園ビジネスアカデミー」設立、八号館解体及び二号館増築等、記念事業を着々と遂行し、このたび事業の完遂を見るに至りました。

一昨年十月から学園関係者にお願している創立六十周年記念事業の資金募集は、同窓生の皆様の多大なご協力を得て九月末日現在一億七千万円に達しております。皆様の暖かいご理解とご支援に厚く御礼申し上げます。

なお、募金は現在もお受けしております。
お問合せ先 学園会計課

東京文化学園 案内請求券 (同窓会)

この請求券を切りとって同封した場合、学校案内は無料になります。必要とされる学校名に○印をおつけ下さい。

短大・医技・ビジネス・高校
中学校・小学校・幼稚園

短大の今

創立六十周年記念事業の一環として短大校舎の増改築が行われました。この一部については既に本紙で紹介されていますが、その後行われた工事も含め、短大に関係する主な所をお知らせしたいと思います。

まず正門の右側に残っていました木造の八号館が解体され、二号館に連結された形で地下二階・地上三階建てに建て替えられました。

この三階は二七〇人を収容できる大教室で、多人数での講義やガイダンスなどの他、卒業研究発表会や外部から講師を招いた特別講演会などにも利用されています。

ライト感覚の図書館

地下二階から地上二階までは短大図書館が占めています。この図書館は、従来の「図書館」という固いイメージではなく、学生に気軽に利用して貰うよう、材質や配色に留意してライト感覚の図書館となっています。二階にはビデオブース八台からなるAVコーナーが設けられており、テープの貸出しも行われています。また、この図書館は全国の短期大学で初めてパソコンを使って貸出しなどのト

今後これら実験室を、名称にとらわれずに、いろいろな目的に使用して行こうとの考えからです。一階の理化学実験室跡に新設された第二調理実習室は、従来からある二階の第一調理実習室が学校用の大調理台が置かれていたのに対して、家庭用のシステムキッチンが設置され、実際に家庭で経験する状態を設定しています。教養コースや幼稚園児の調理実習、小パーティ、調理クラブなどのクラブ活動、講習会などに利用されています。

一ツル管理を行う所に特色があります。学生はそれぞれ自分の利用者カードを持ち、そのバーコードと本のバーコードを読み込むだけで貸出しできるシステムになっています。このような新しい試みが学生の感覚にフィットしたので、よう、新図書館になってその利用状況は従来の統計を大きく上回ってきています。

第二調理実習室の設置

この二号館増築工事に引続き、一号館(新渡戸記念館)などの工事が行われました。一階の理化学実験室が二号館二階の旧三番教室跡に移転し、その理化学実験室跡に第二調理実習室が設けられました。

理化学実験室は栄養学実験室や食品加工実習室と同じフロアに移転したため、これら研究室相互間で実験器具などの共用がしやすくなりました。それぞれの研究室が所有していた天秤などの汎用機器は、新たに機器室を設けてその全部を収容し、どの研究室でも使えるようになっていきます。

またこれを機会に栄養学実験室は第一実験室に、理化学実験室は第二実験室と名称を変更しました。

右 図書館閲覧室
左 第二調理実習室



行く十年先を長期的に見据えつつ、現在中期計画を立案中です。

以上今回は主として短大のハード(設備)面について記しましたが、充実した教育を行うためにはハードと共にソフト(カリキュラム)の充実が必要です。

カリキュラムの充実は十八才人口が急減して

学生募集要項

家政学科

■食物・栄養コース

(栄養士免許取得)

■教養・教職コース

(中学2級家庭・保健科教員免許取得)

お問い合わせ

短大教務課 (381)0196 内線233

出願方法	願書受付期間	試験日	合格発表	試験科目および必要書類
推薦入学	第1期 11月7日(月)～ 11月25日(金) まで必着	11月29日 (火)	12月1日(木) 郵送	面接・作文・基礎学力テスト 入学志願書・調査書・健康診断書 推薦書(推薦出願を希望する者のみ) 2期では推薦書がなくても受付ける
	第2期 1月20日(金)～ 2月1日(木) まで必着	2月7日 (火)	2月9日(木) 郵送	
試験入学	2月23日(木)～3月3日(金) までに必着	3月7日(火) 午前8時 40分集合 午前9時 試験開始	3月8日(水) 本学掲示	●食物・栄養コース…(英語I・II) 英語(英語I・II)、理科(生物・化学より選択)、面接 ●教養・教職コース…(英語I・II) 英語(英語I・II)、理科(生物・化学)または社会(日本史)より選択、面接

近代医療で最も重大な 役割をもつ臨床検査技師

桃園校舎に昨年新築移転した医技は、新カリキュラムの下で日が経つにしたがって、さらに教育内容も設備も充実し、福岡良男校長、本間伊佐子副校長、男性専任講師三名、女性専任講師三名、助手二名で行われております。又、外部から知識と経験の豊富な先生方をお招きし、その先生方の中には卒業生の一部も加わり現在の専門性の高い高度の医療が要求する教育

病院実習

病院実習は、新カリキュラムにより、厚生省の指示で本年度から六か月間、三年生の四月から十一月までの期間で行われ、土曜日は登校日で、学校での授業を受けています。現在の医療現場では、高度な自動分析機が取り入れられ、超音波診断装置など最新機械の導入がされているなかで、臨床検査技師の役割を正しく把握し、専門家としての必要なものを勉強しています。

国家試験は、本年から年一回になり、学生達は大切なチャンスを目標に医療人としての教養と専門家としての勉強に全力で進んでおります。

行事

又一方で、学生時代がより楽しく有意義なものとなるよう、行事が計画・実行されています。一年



スポーツ大会

生入学時に、新入生オリエンテーションが山中湖で行われ、四月末に、医技、ビジネス合同のスポーツ大会で気持ちよい汗を流しました。夏休み最後に浅間高原寮で合宿をします。二年時には、岡山方面に研修旅行を行い、東洋一である医学博物館の見学、川崎医療短大臨床検査科学生との交歓会、倉敷見学、瀬戸大橋を通り栗林公園の散歩等で過します。三年時には、体力づくりをかねた研修旅行が行われます。

学園祭では、学友会が日頃の学習の様子を展示、研究発表会が毎年十二月に行われています。

現在は、臨床検査技師として男性も進出し、一生の仕事として取り組んでいる人が多くなりました。女子校である我が校は福岡校長を中心に、伝統を守り、ますます発展すべく努めています。

就職状況

今年度及び最近の就職状況をお知らせいたします。最近では、卒業生の就職が多少困難になってきたと見られていますが、本校では卒業予定者数の十倍以上の求人が寄せられています。卒業生は全員希望通り就職して、新しいスタートができることは幸いと思えます。最近の卒業生の傾向としては、

大学病院、大病院志向は以前と変りませんが、住居に近い場所を第一条件にする人、新しい分野である民間の検査センター、企業の学術部、機器メーカーのインストラクターとして進出していく者と、
既卒者用求人、学校に多く寄せられています。再就職を対象にしたもの、アルバイト等も多々あります。卒業生の皆様も、ご利用いただきたくお待ちして居ります。

昭 和 63 年 3 月 の 就 職 先

東京大学附属病院、東京慈恵会医科大学附属病院、昭和大学病院、東京女子医科大学病院、日本医科大学病院、日本大学附属病院、順天堂大学附属病院、帝京大学附属病院、防衛医科大学附属病院、聖マリアンナ医科大学附属病院、昭和大学藤ヶ丘病院、東京医科歯科大学病院、北里大学病院、京大医学部附属病院、三井記念病院、虎の門分院、松江病院、東京電力病院、荻窪病院、東京衛生病院、済正会向島病院、久我山病院、木場病院、旭中央病院、相川病院、大腸病院、慈恵医学大学、杏林大学、SRL・BML、塩野義製薬、練馬医師会検査センター、PL東京健康管理センター、ライフプランニングセンター、大町総合病院、蒲原総合病院、化学療法研究所附属病院、築波メディカルセンター、福生病院

学生募集要項

修業年限	3年
募集人員	64人
入学資格	高校卒業(又は同程度の者)
出願書類	入学願書、出身校の調査書、健康診断書、推薦入学の場合は出身校の推薦書
選考方法	① 推薦入学
願書受付	昭和63年11月1日～12月2日
選考日	12月6日(適性検査、面接)
合格発表	12月7日
選考方法	② 試験入学
願書受付	昭和64年1月9日～2月4日
選考日	2月8日
合格発表	2月9日
試験科目	「英語Ⅰ」、「化学」「生物又は物理」

* 二次募集があります。
* 詳細は「学校案内」をご覧ください。

第二期生入学 東京文化学園 ビジネスアカデミー

開校二年目を迎えた、「専門
学校東京文化学園ビジネスアカデ
ミー」は、四月十二日、学園小体
育室で二十二名の入学式が行われ
ました。



十三日は、校内でオリエンテー
ション、十四日から十六日までは
山梨県清里・清泉寮でのキャン
プで新しい友人と仲良しに。
今年の新生は、東京文化高校
から十名、目白学園三名、東京立
正二名、都立片倉、都立葛飾野、
大成、立川女子、淑徳巣鴨、立教
女学院、東京家政大学附属女子の
各校から各一名でした。

第一期生の就職

早いもので、第一期生の就職活
動が新学期と同時に開始されまし
た。学校から、各企業に対し、新
設校であるので、求人について依
頼状を出し、こちらから学校の内
容、卒業予定者の状況を説明にも
行き、求人票を出して頂くよう依
頼しました。その結果、八十社か
ら求人票が送付されました。こ
他、企業が行う「合同説明会」や
個人が会社を訪問したりして、百
三十社以上に及び、二年生は夏休
み返上で、極めて精力的に就職活
動を行いました。

九月三十日現在、内定の通知を
受けたのは十名中八名で、一名は
更に勉強するため英国に留学する
ことを決めており、残り一名も十
月中には決定すると思われま

八名の就職内定先
丸紅オートリース、積水ハウ
ス、(株)ホテルグランドパレス二
名、(株)辰巳商会、(株)山善、鹿島建
設、川崎重工業(株)

検定試験に チャレンジ

就職に必要な各種検定試験の合
格状況は下の表の通りで、全員が
意欲をもって取り組んでいます。

資格・検定合格状況

	1年		2年	
	4級 5名	3級 13名	3級 8名	2級 1名
英語検定*			3級 8名	2級 1名
Cambridge 英語検定			6名	PRE- PET、7名
秘書検定 * 簿記検定 (日商)	3級 2名		3級 6名	2級 2名
簿記検定 (全経)	3級 1名		3級 1名	2級 2名
ペン習字検定 *	3級 2名	2級 2名	3級 9名	2級 6名
ワープロ検定			3級 3名	2級 3名
英文タイプ検定			D級 3名	

注：*印は重複している者がいます。

来年度の募集
下表のとおりで
す。よろしくお願
いいたします。

専門学校

東京文化学園ビジネスアカデミー

昭和64年度 募集日程

2年制 高卒女子 90名

	願書受付締切	選考日	合格発表	選考内容
推薦 入学	第1回 63. 11. 9 (水) 第2回 12. 5 (月) 第3回 12. 20 (火) 第4回 1. 18 (水)	63. 11. 10 (木) 12. 6 (火) 12. 21 (水) 1. 19 (木)	選考日の翌日 (校内掲示10:00a.m. 及び本人宛郵送)	作文・面接
試験 入学	第1回 64. 2. 8 (水) 第2回 3. 7 (火) 第3回 3. 22 (水)	64. 2. 9 (木) 3. 8 (水) 3. 23 (木)	選考日の翌日 (校内掲示10:00a.m. 及び本人宛郵送)	英語I 一般常識 (国語・数学の基礎知識) 面接

東京文化学園生え抜きの 先生がビジネスアカデミーに

今年四月、新しく助手の先生が
着任しました。 宮本礼子先生

先生は東京文化幼稚園から小学校
中学校、高等学校を卒業、玉川大
学外国語学科を卒業しビジネスア
カデミーに就職されました。
当分の間助手として、教務課の
仕事の間、生徒の良き相談相手と
して活躍されることになりました。

一年生の合同夏期合宿 初秋の高原寮で

医学技術専門学校とビジネスア
カデミーの一年生は、九月一日か
ら九月三日まで、高原寮で夏期合
宿を行いました。

相互の親睦と、体力の練成、そ
れと教養特講として、国際政治評
論家・前NHK解説委員長の緒方

彰先生(ビジネスアカデミー講師)
の特別講義、御代田消防署の指導
による消火訓練と、盛り沢山の行
事を行いました。

ビジネスアカデミーは、八月三
十一日から、一日早く高原寮入り
をして、夕食は、皆で考えた献立
で自炊です。パーベキュー、スー
プ、フルーツポンチの献立を三班
にわかれて買出しから調理、後片
付けまで。全部終わったときは、
八時になっていました。

翌朝は、中軽井沢のホテルニュー
ーホシノで朝食のテーブルマナー
の勉強、バードウォッチングで過
しました。午後からは、医技と合
流して合同のプログラムで、防災
の日に当り消火訓練を行い、スポ
ーツ大会のあと、緒方先生の特別
講義を拝聴しました。第二日目は、
軽井沢でサイクリング、ショッピ
ング、夜は、キャンプファイヤー、
と花火大会。第三
日目は反省会の後
大掃除をして、解
散。

国際化・高齢化する未来に向けて 人格の陶冶と自己教育力の育成

— 今、生きる建学の精神 —

中学校長 黒澤教子
高等学校長

同窓生の皆さん、風の便りに全国各地で種々活躍の由承わり、嬉しく存じます。

還暦元年、母校は国際化、機械化、情報化、高齢化といわれる新時代へ向って一歩一歩踏み固めております。

新時代にむけて生きる

建学精神

この七月文部省は、生涯学習局を新設しました。それは、今までのような学校教育に頼りすぎた教育体系を改め、日まぐるしく進歩変容する社会にあつて、国民が長寿化した人生をより豊かに生きるには、もう学校教育の充実のみでは果せないことを示したのです。

社会の進歩が早い程、生涯を通じて啓発され、充電し続けることを必要とします。「循環教育」なる言葉が創られています。一度社会に出たものが、何年かの職業経験を踏まえた上で、また何らかの学習機関に戻り、新技術、新知識の再教育を受けて再び社会に戻る。その繰返しを要する程に社会の変容が予想される今日です。

創立者森本厚吉先生の言、「卒業は始業なり。」です。

であるなら、生涯学習に役立つ人格、基礎的基本的学力・生活態度を育てるのが、生涯学習体系の中での中等教育の役割になります。

こう考えると本校創立以来の教育方針である「自分のために自分で学ぼう」「自分で自分を育てる」という自己教育力の育成は、本校教育のポイントとして、もっと工夫して展開せねばと思っています。

時代は国際人の資質を国民に要請しています。単に外国事情に博識になることのみがその資質ではなく、異文化を持つ相手の立場になつてものを考えられる人間が求められているのです。なれば、三H精神を基軸にした「心」のある

中学 高校の現況

人格を養う多様な行事

海外研修旅行

本校では、生徒のもっている能力を、数多くの機会を与えることによって、どれかの機会に発揮させたい。社会生活がうまくやれるようにさせたい。良いものを見た

人間性の養成は欠くことの出来ない教育指標と言えます。

昔から本校紹介の文には必ず掲載される言葉に、「国際的視野を持ちつつ、日本文化を尊敬する女性」「人前に出て憶せず、はにかまず、堂々と振舞え、なおマナーに叶う品位ある女性」があります。二十一世紀は、「太平洋の世紀」とか「アジアの世紀」と言われま

す。停滞する欧米社会と対比的にアジア諸国の経済、文化の浮上を指すのでしよう。その中で指導的立場に立たざるを得ない日本を考えると、これ等の言葉は、今こそ果すべき教育目標と存じます。

紙数が増えますのでここで打ち切りますが、こう並べてみるだけでも本校の教育の方向は新時代にむけてびったりと思えます。その実現に全校をあげて力を盡くしますので自信をもって、胸を張って本校を御紹介下さい。



夏は浅間高原寮へ

浅間高原寮を利用しての、中学校一・二年の夏期学校、高校のクラブ合宿も夏期に実施されます。年々、施設も整備され、恵まれた自然環境とあわせ、貴重な教育現場となっています。

カナダへ海外研修

高二が主体の希望参加行事「海外研修旅行」も、今年で十二回を数えました。海外生活を体験し、国際的視野をひろめることを目的に、初代校長の新渡戸先生ゆかりの地カナダを約四週間、ホームステイを含めて実施しています。今年の参加者は高二学年の半数以上の122名でした。一まわり大きくなって帰って来たようでした。



昭和六十四年度 生徒募集

- 中学校
 - 募集人員 約一五〇名
 - 試験日 一回 2・1 水、二回 2・3 金
 - 発表日 一回 2・2 木、二回 2・4 土
 - 願書受付 1・20 金、
 - 高等学校
 - 募集人員 約三十名(推薦)
 - 試験日 2・19 日
 - 発表日 2・20 月
 - 願書受付 1・26 木、
 - ☆ 学校説明会
 - 10・8 (中学のみ)、11・12、12・17 (11・26 除く) の各土曜日、午後二時より

秋を彩る

創作舞踊発表会や学園祭

9月30日に創作舞踊発表会が行われました。一学期から体育の授業で、クラス一丸となって、知恵を絞り作りあげる創作ダンスの発表です。ここでは創造力や協調性など人間関係の勉強が自然に行われるのです。

恒例の学園祭が、11月2・3日に行われますが、日常の教育活動の成果を発表する場としてとらえていますので、生徒の実行委員を中心に創意工夫の成果が発表されています。

暮の12月末にスキースクールが希望参加で実施されますが、年々中学生の希望者が増え、大きな行事の一つになっていきます。

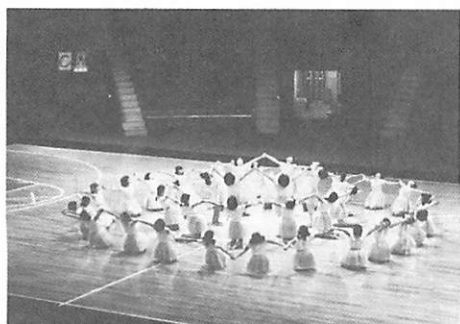
正月には「かるた大会」が小体育室で開かれます。百人一首を通して古典に興味をもつ生徒も増え、これも年々盛んになってきた行事です。

生活指導もしっかりやっています。

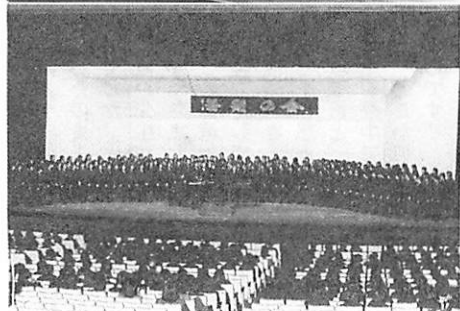
社会の多様化のなか、いろいろな誘惑の声や手がのびてきますが、姿・形・立居振る舞いを「清潔・端正・品位」を基本に指導し、「東京文化は私です」と生徒が自

覚をもって行動していますので、非行のない学校として評価されています。

以上、簡単ですが母校の現況をおわかりいただければと思います。今後建学の精神を柱に、よい伝統を継承しながら、新しい時代にむけて、時代を先取りした学校づくりに努力したいと思えます。



秋の創作舞踊発表会



学園祭 芸術の会

外国語教育

これからの日本は、益々国際化していくと言われています。学校での教育内容も、それに合わせていく必要があります。

外国について知識は、日本人は世界一でしょう。政治・経済・文化など、多くの情報を吸収し、興味をもっていますが、実によく知っています。外国人はこれに對して、日本のことをよく知らないようです。世界には、メイド・イン・ジャパンがあふれています。日本人は、又、外国の言葉について、大変興味をもっており、その知識も世界一と言っても過言で

はないでしょう。しかも、学校生活のなかで六年以上も、外国語を勉強している国は、世界の中でも類はないでしょう。しかし、それだけの学習機会に恵まれていても、国際人が育たない。外国人の前に立つと気がおくれしてしまう、今は大分変わってきてはいると思いますが、これは外国語の知識だけでは、外国人の人々との心の交流ができないことの証拠です。

心の交流の手段は言葉だ。これからの国際化を考えると、今の外国語教育を改める必要がある。この外国語教育を改める必要がある。この外国語教育を改める必要がある。

五日制の実施

中学校、高等学校の現況をお知らせしたいと思います。

五日制を実施しています。

自分のために自分で学ぶ習慣を身につけることにより、受身的な生活から積極的に行動する生活へをねらいとしています。

月曜日から金曜日までは、学校で普通の授業が行われますが、土曜日は、ねらいに従って「自学自習」の日となつて、学校では授業は行いません。

学年ごとにテーマがあります。

中一は予習・復習を習慣づけることです。中二・三年は予習・復

習の習慣化の継続ですが、更に私の研究というテーマが行われています。これらは土曜ノートを通して担任と家庭との連絡ははかられて成果をあげています。

高一是「母親に学ぶ」がテーマです。土曜日は一日、母親がわりをしながら、母親から学んでいくということ。高二では教科色のある自学自習のテーマ「自主履修学習」です。各教科よりのヒントを参考に、各自で年間学習テーマを決め、途中、教科の先生の指導助言を受けながら実行します。

高三は進路を中心にすすめています。

これら五日制の生活スタイルも落ち着き、それぞれの成果をあげています。

“後光のさす人”

小学校長
橋本正礼

小金井の野川公園の奥に、きれいな湧き水の流れている所があります。

昨年、幼稚園の遠足の下見にそこへ行った時、公園の事務所でも偶然知人に出会ったお蔭で、その湧き水を利用してホタルを育てようと試みている人々のいることを知りました。私もホタルが大好きなので、早速その人々の集まりである「野川ホタル村」という会に入会して、その村民に加えて貰ったのです。

その後、時々送られて来る「ホタル村通信」を読んで、これまでの大体の経過を知ることができました。

それによると、もう一年程前から近隣のホタルの棲息地を見学して回ったり、ホタルを飼育している人々を訪ねて研究を続け、まず幼虫の飼になるカワニナの飼育を始めたのだそうです。

これが何となくうまく行ったところで、次に地方の飼育家に頼んで源氏ホタルの幼虫をわけて貰い、それを村民の中の有志が育てました。やがて、幼虫がある程度大き

くなったら湧き水に放すのです。こうして、昨年の六月には漸く五・六頭(ホタルは一頭、二頭と数えるそうです)が成虫になったと言うことでした。

この人々は、湧き水の周辺に美しい光を放ちながらたくさんホタルが飛び交う日を夢見ながら、今もひたすら幼虫の飼育に励んでいるのです。

ホタル村の話から、私は新渡戸稲造先生の事を思い出しました。昭和八年、カナダで開かれる太平洋会議に出発される直前、この学園の生徒を集めてなされたお話が、五十年史に載っていますが、その最後の方で先生はこう言っておられるのです。

「私の古い友達に女の人がいる。もういい加減の婆さんだが自分で学校を開いている。そこに行くと見ると、何だか他の学校とは生徒が異なるようだ。そしてその生徒たちは、体つきや物腰がいきいきとして、ニコニコとして嬉しそうな態度で、他人に対しても誠に親切である。さすがはこの先生が開いている学校だけある。一略」

この学校もそうでありたい。学問や理智的方面も結構だが、何だか後光が放っているような明るい気分の人がいるという評判をとりたいたものである。誰の前へ行って、あたたかく後光のさすような人になるのが目的

だと思う。一以下略」
このように論じてカナダに旅立たれ、そのまま不帰の客となられたのでした。

新渡戸先生が亡くなられて五十年がたちましたが、今も私達は、この御遺訓を受け継いで行くことと努力をしています。「あたたかく後光のさすような人」を育てることを理想として指導に励んでいる教職員と、美しい光を放つ小さな虫を夢中で育てている人たちが、どこか似通っているように思うのです。

やがて何年か後に、地球上のあちらこちで「あたたかく後光のさす人」がその光を輝かすことを祈りつつ、私たちは、この東京文化学園ホタル村の子どものために教育に励んで行こうと思います。



フォークダンス

浅間高原学校

東京文化小学校では、夏休みに入るにすぎ、一年生から三年生までの全員が参加する、三泊四日の浅間高原学校を実施しています。宿泊をする浅間高原寮は、昭和三十九年に落成した本学園の施設で、北に浅間山を望み、東に軽井沢、南に小諸を控える御代田町に建てられています。

寮には四棟の宿舎と広い二面のグラウンドがあり、構内は白樺をはじめ高原特有の草木も多く、野鳥の鳴き声も聞かれる、さわやかな自然に恵まれた所です。子どもたちは男女別に縦割りの小グループにわかれ、兄弟姉妹のように仲良く生活をしながら、自主性、自律性、協調性などを共同生活を通して学びます。

真薬寺ハイキングとます釣り、バスを利用しての浅間牧場や白糸の滝への遠足、小諸城址懐古園、りんご園などの見学や、星空の下で大きな輪になって歌ったり踊ったりするキャンプファイア等の楽しいプログラムは、いつまでも良い思い出として子どもたちの心に残り、同時に、全教職員も参加して寝食を共にする大自然の中の共同生活は、心と体を鍛え、「強く明るく、正しく」という本校の目標を実践し、それを体得させる大

切な教育活動の一つとなっています。



浅間牧場で

昭和六十四年度児童募集

募集人員 男女合わせて約四十名
(内部進学を含む)

入学説明会 10月6日(木) 午前9時40分

願書受付 10月18日～11月10日

入学テスト 11月11日(金)

合格発表 11月12日(土)

★入学案内は小学校受付で配布中

ようちえん だより

園庭のすみの草むらでコオロギが秋を告げ、夏休みの間、沢山の経験を通して、一段と成長した子ども達と共に、新しい学期のスタートを切りました。誰も彼もぐんと背が伸びて、日焼けした顔は輝いています。

いきいきと遊ぶ年中組園児の姿をりす組担任伊藤恵理教諭の保育日誌からご紹介しましょう。



年中組の「しっぽ踏み」

しっぽ踏み

二学期に入り、はつきりとしたお天気が続きましたが、子ども達はホールの中でも、とても元気よく走りまわっています。そんな中で、「しっぽ踏み」のコーナー製作が始まりました。

丸く切ったボール紙に、クレヨンで思い思いの絵を描き、それを紙テープの先につけて出来上がりです。スポンやスカートのひもにしっぽを結びつけると、ちょっとした変身気分を味わえるのでしょう。YちゃんとEちゃんは鏡の前で、左右にしっぽを揺らしながら喜んでいました。

一つのしっぽを描くのにも、皆とても凝っています。長い時間をかけて丁寧に色をぬっていたTちゃん、「なんだか踏むのは、もったいなくなっちゃった。」と言って、結局もう一枚作り直しました。お友達と同じしっぽをつけてみたいと思う子。早く遊びたいので、サッサと簡単に済ませてしまう子。コレクションでもしているかのように、三つも四つも作る子。だけに喜びを感じている子など、

製作過程にもそれぞれの個性が見られて楽しいものです。ようやく雨が上がり、園庭でしっぽ踏みが出来るとなると、遊びのおもしろさもわかってくる。「また、しっぽを取られちゃったよ。」と残念がるR君。しっぽを取られたことも気づかずにしばらく走りまわっているK君。夏休み前は、一人遊びが多かった子どもも、自然に集団での遊びに加わるようになってきました。また、逃げることに一生懸命になり過ぎて、正面衝突してしまったり君は、すぐに立ち上がって涙を拭きながら、踏まれないようにと遊びを続けるたくましい面を見せてくれました。

体育活動

夏休みが終って、心も体も成長した子ども達。かわいらしいしっぽを、ひらひらと秋風になびかせながら、運動会に向けてますます盛り上がりそうです。

今年も例年通り、年長児達は、週一回、短大体育研究室の額谷修二先生より体育指導をして頂いています。

一学期前半には、まだ、楽しくて体も心も浮かれているという様子で、集中して先生の指示をたぐえ活動することも、体育用具の片付けも、うまく出来ずにいました。後半には、少しずつ真剣な取り組みがみられる様になって来まし

た。

夏休みも間近になったある日、「一人ずつ跳ぶところをみてみよう」と跳び箱の成果を披露することにしました。簡単に跳ぶことが出来ている子どもも緊張の面持ちです。この日まで、全く跳べなかつた子どもの中で、D君とAちゃんは初めて跳ぶことが出来、皆から拍手され、恥ずかしそうに、れでもとても嬉しそうに輝いてみえました。四月から続けて来た跳び箱も上に登ったり、両足で乗ったりすることを少しずつ積み重ねていくお陰で、これからも出来るようになる子が増えていくことでしょう。

技術的向上を抜きには、語れませんが、この体育活動を通して一つ一つのことに真剣に取り組むことや最後まで頑張り通すこと、皆で力を合わせてやることなど沢山のことを身につけていって欲しいと願っています。

子どもの教育相談室

お気軽に相談を

子どもの自殺、家庭内暴力、登校拒否など、子どもの教育をめぐる諸問題が、新聞の社会面ににぎわしている昨今です。東京文化幼稚園では、一人一人のお子さまの健やかな成長を願い、少しでもお母様方のよき相談相手になりたいと、子どもの問題では

第一人者の石井哲夫先生にご協力頂いて、「子どもの教育相談室」を開設してから六年目を迎えました。

石井哲夫先生は、日本社会事業大学の教授で、子どもの生活研究所の所長でいらっしゃいます。

お子さまの発達が順調かどうか確かめたい方、知能テスト、心理テストの測定をご希望の方、どうぞお気軽に相談においで下さい。

相談日は毎週水曜日、午前九時三十分から午後四時までで、お一人の所要時間は、約一時間三十分です。相談には子どもの生活研究所の田中恵美子先生があたります。予約により時間を決めますので、幼稚園(電話三八一・一一八三)までお申し込み下さい。相談料は三千円です。

昭和六十四年度

園児募集

公開保育日 9月29日(木)

雨天の場合 9月30日(金)

入園説明会 10月12日(水)

入園諸検査 受付順に実施

願書受付 11月1日のみ

三才児男女15名

四才児男女25名

五才児 若十名

を募集します。幼稚園案内を配布中です(無料)

東京文化幼稚園

短大三十二年卒 クラス会

昨年は卒業三十周年に当りまして、少し遅くなってもいいから、何か良いプランを、と相談を重ね、十月の同窓会総会の機に他のクラスの方にも打診し、京都市に決定しました。卒業、就職、受験、入学、学園祭等の学校行事の多い時期を避け、交通公社さんの都合もあって、五月二十二日となつてしまいました。

生憎、お天気には恵まれませんでしたが、緑の最も美しい時に、遠くは青森、鹿児島と全国から十九名のご参加をいただきました。もう一生お会い出来ないかと思つていた方達とも再会出来、一同心から喜び合う事が出来ました。

学生時代そのままの若々しいお顔を見ながら夜の更けるのも忘れて語り合いました。翌日は十四名の皆様と名園をめぐる感動を共にいたしました。

私達も身体の変わり目、体調をくずされた方も多様でございます。これからは一年一年が大切となります。「出来れば毎年でもこうした旅行等のプランをお願いいたします」とご希望も多数出ました。時には地方の方に幹事さんになつていただいで、地方での同期会もいかがかと思ひます。

尚、今回の旅行は里見さんのご紹介で高田馬場の交通公社さんのお世話になりました。又、新しい名簿を漆原さんのご主人がワープロで打って下さりまして、当日皆様にお渡し出来ました。

◎昨年、Bクラスの生田和子(旧姓野口)さんがお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

◎五月三十日木住野京子(旧姓内田)さん(Aクラス)がご逝去されました。最新のお別れに見えたようで、あの明るい笑顔は忘れることが出来ません。誠に残念です。心からご冥福をお祈りいたします。

短大三十二年卒
五十嵐明子(宮尾)

第五回

海外旅行のお知らせ

昭和六十四年夏、海外旅行を行います。場所は御希望の多い北欧か、カナダを検討中です。期日は、八月二十日以降を予定しています。御希望の方は(〇三三三八一〇一九六代表)同窓会本部までお問い合わせ下さい。(事業部)

住所変更のときは

お手数でも転居の際ハガキに宛名ラベルの番号を付けてご連絡をお願いいたします。(名簿部)

名譽会長	白井スエノ	166	杉並区堀の内1-10-6	03-312-0428
会長	滝川くに	174	板橋区成増4-21-3	03-930-6011
副会長	青木純子	176	練馬区中村3-5-16	03-999-4212
会計監査	長岡文子	227	横浜市緑区桜台25-1 桜台ビレッジ4B-202	045-982-1153
経理部長	榎本法子	143	太田区池上3-17-4	03-753-2735
経理部副	榎本江	160	新宿区若葉町2-8-7	03-351-4666
高女部長	森原初江	187	小平市花小金井2-755	0424-65-1997
高女部副	田村英知子	181	三鷹市下連雀4-17-26	0422-43-4900
短大部長	竹谷智子	272	市川市東菅野1-3-23-403	0473-25-2733
短大部副	江頭照子	167	杉並区上井草2-41-2	03-390-9727
医技部長	小宮山道子	156	世田谷区羽根木2-1-10	03-645-8482
医技部副	山崎瑞明	165	中野区上鷺宮1-25-9 森ハイツ1-201	03-321-8030
高校部長	小中谷容子	223	横浜市港北区綱島西6-21-19-302	03-926-9514
高校部副	小栗豊子	112	横浜市港北区綱島西6-21-19-302	045-545-1148
小学校副	大北川輝子	214	文京区小石川15-11-15小石川ビュ-パレス902	03-816-6146
特別校内理事	小口幸子	166	練馬区東大泉町7-37-7	03-942-8633
森本晴生	271	川崎市多摩区長尾6-9-6	044-888-9988	
中川悦子	237	杉並区和田3-31-15-306	03-318-2144	
黒沢教子	246	杉並区和田1-67-17	03-381-1049	
白鳥雅子	234	杉並区和田1-70-16	03-381-6030	
小島圭子	249	小金井市緑町5-10-22	0423-81-1080	
小松洋子	224	杉並区和田1-28-7	03-384-0364	
鷺見英智子	238	杉並区堀の内2-31-1	03-311-2234	
石田由美子	381-1184	内線番号		
佐伯かよ子	381-0121			
阿部水一恵	231		0484-63-0276	
杉山佐百合	229		03-361-6474	
同窓会室	232		03-391-7376	
大池光子	164	中野区本町6-41-1	0474-72-4070	
			03-384-4639	
			0423-84-5661	
			03-981-4470	
			0423-63-2645	
			0423-26-1247	
			044-61-7706	
			0426-25-1034	
			0423-63-0486	
			03-381-4715	

勤務先 TEL 03-806-3180

勤務先 TEL 813-7111
" TEL 813-7111 血液検査室
" TEL 454-5069 ライフプランニング検査室

東京文化学園同窓会理事名簿

東京文化学園同窓会支部一覧表

昭和63年 9月12日現在

北海道札幌支部	玉木美佐	060	札幌市白石区五条3-4-32	TEL 011-82-8283
帯広支部	川上幸子	080	帯広市依田町6	TEL 0155-23-2201
青森支部	森村正枝	030	青森市浜田板橋23	TEL 0177-34-6426
秋田支部	田部那波	010	秋田市保戸野中町6-14	TEL 0188-62-2570
岩手支部	山星	020	盛岡市東緑ヶ丘17-12	TEL 0196-61-8453
山形支部	山星	990-23	山形市飯田5-16-4	TEL 0236-41-7547
宮城支部	稲村	960	仙台市鶴ヶ谷5-20-19	TEL 022-251-3675
新潟支部	目崎	947	小千谷市上ノ山1-2-15	TEL 02588-2-1131
福島支部	岡部	963-02	郡山市大槻町熊野木34	TEL 0294-51-1631
副支部長	渡部	967	南会津郡田島町大字永田字大道上350	TEL 0241-62-1129
富山支部	布山	939	富山市大町一区南部43-5	TEL 0766-25-3557
長野支部	山崎	390-03	松本市浅間温泉189	TEL 0263-46-0882
副支部長	栗林	389-06	埴科郡坂城町南条2304	TEL 0268-82-2273
茨城支部	山田	319-15	北茨城市磯原町磯原1215-3-15	TEL 0293-42-0694
副支部長	山田	308	下館市岡崎西浦1-6511	TEL 0296-2-6007
栃木支部	戸部	320	宇都宮市西2-2-30	TEL 0286-34-6589
副支部長	島田	323	小山市神島谷1085-4	TEL 0285-22-1069
群馬支部	塚田	371	前橋市日吉町2-6-11	TEL 0272-31-7090
副支部長	佐藤	371	前橋市朝日ヶ丘1-7	TEL 0272-51-6850
副支部長	関口	371	前橋市昭和町3-8-10	TEL 0272-32-3751
静岡支部	島田	430	浜松市下池川町2-11	TEL 0534-71-2569
岐阜支部	林	504	各務原市那加雲雀町37	TEL 0583-82-0770
愛知支部	野田	464	名古屋市千種区田代町四観音西15-3	TEL 052-711-2959
副支部長	朽木	465	名古屋市名東区松井町311	TEL 052-703-7716
鳥取支部	中田	608	鳥取市馬場14	TEL 0857-22-3409
兵庫支部	柳	700	岡山市当新田490-298	TEL 0862-43-7931
岡山支部	石橋	729-64	広島市高田郡甲田町上甲立70	TEL 0888-83-8227
広島支部	森本	780	高知市高須新町4-8-3	TEL 07356-2-0057
和歌山支部	堀本	649-35	西牟婁郡串本町串本1851	TEL 07356-2-0057
愛媛支部	鎌田	795	松山市高岡町781-7	TEL 0899-73-6099
福岡支部	龍乙	832	柳川市靴屋町48	TEL 09447-2-2213
大分支部	長田	876-24	大分県南海部郡蒲江町大字蒲江浦3383	TEL 09724-2-0005
宮崎支部	村中	885	都城市蔵原町8-2	TEL 0986-22-3137
長崎支部	久松	856	大村市片町71	TEL 0957-52-3459
熊本支部	堀川	ミヨ	鹿兒島市天保山町13-15	TEL 0992-55-3687
鹿兒島支部	永山	高子	鹿兒島市和田町883-6	TEL 0992-61-6328
沖縄支部	阿波根	由子	沖縄市諸見里3-9-6	TEL 09893-3-0822

支部だより

同窓会には全国に三十一の支部があり、それぞれの地域で活動しています。支部会が開かれるときには、学園から先生方が出席されることもあります。昨年十月以降は次のとおり支部会が開催されました。

宮崎県支部

昭和六十一年十一月十三日(金) 午前十一時三十分、学園から大久保安威理事長と森本晴生常務理事をお迎えして、宮崎市の「入江」で開かれ、中村支部長をはじめ三人が出席しました。

平日の昼のため、少人数の会となりましたが、学校の近況や創立六十周年記念事業について伺ったり、宮崎県支部の近況をお話したり、なごやかなひとときをすごしました。

栃木県支部

昭和六十三年六月十九日(日) 午前十一時三十分、短期大学の川悦教授と白鳥雅子講師をお迎えして、宇都宮市の「銀座園」で開かれ、戸部支部長をはじめ十七人が出席しました。

短期大学や新設のビジネスアカデミーなど、学園の近況を伺い、学生当時に思い出して旧交を暖め、あるいは先輩後輩が初対面の挨拶をしたり、にぎやかなひとときでした。

理事会・幹事会のごきぎ

- 昭和六十二年度 第三回理事会
 - 十月七日(水) 同窓会館
 - 一、海外、国内旅行報告
 - 二、「泉」発送報告
 - 三、総会について
 - 四、学園祭について
- 第四回理事会
 - 十月十八日(日) 短大学生ロビー
 - 一、総会について
- 第五回理事会
 - 十二月五日(土) 信濃町「陣屋」
 - 一、総会報告・反省
 - 二、学園祭売店報告・反省
- 第六回理事会
 - 一月二十七日(水) 同窓会館
 - 一、入会式、卒業式について
 - 二、第一回幹事会について
 - 三、六十二年度行事予定
 - 四、六十二年度決算、六十三年度仮予算
- 昭和六十三年度 第一回理事会
 - 四月十三日(水) 同窓会館
 - 一、第一回幹事会、新入幹事歓迎について
 - 二、昭和六十二年度決算及び六十二年度予算
 - 三、会則改正について
 - 四、第二回国内旅行について
 - 五、観劇会について
 - 六、各部会六十三年度の行事予定
- 第一回幹事会

四月二十二日(水) 学園第二カフエテリア

- 一、新幹事紹介
- 二、昭和六十二年度決算及び六十二年度予算
- 三、観劇会について
- 四、学園祭について
- 五、各部会行事予定について
- 六、第二回国内旅行について

- 第二回理事会
 - 六月一日(水) 同窓会館
 - 一、六十三年度年間行事計画
 - 二、各理事職務分担について
 - 三、支部連絡委員会の報告
 - 四、観劇会中間報告
 - 五、各部会の近況報告
- 第三回理事会
 - 九月七日(水) 同窓会館
 - 一、次期総会の開催について
 - 二、観劇会について
 - 三、学園祭について
 - 四、「泉」発行について
 - 五、各部会報告
 - 六、同窓会国内旅行報告

なお、黒沢教子先生の中・高校長就任祝いの会を理事と、同級生有志が集まり五月二十五日新宿、老辺餃子館で開かれました。

REPORTS

昭和十九年十一月一日(水) 晴

今日始めて空襲がありました。体操着に着替えて講堂で皆で騒いでいると、誰かが「警戒警報よ」と叫んだ。急いでお教室に戻り洋

服を着るとすぐ飛び出して友達と一緒に階段を降りて来ますと、「空襲警報だつて!!」「待避よ!!。」と言われて皆びっくりしている、村上先生が、「落ちついて記念館の職員室へ待避なさい。」と誘導して下さった。友達と「しっぺね。」と声を掛け合った。「早く!!。」と村上先生の声が校内に響いていた。(中略) 家へ帰る途中

省線が線路の上止ったまま中には一人も乗っていません。省線で帰る人はどうかしら?と思つた。

注 村上先生は岸真子先生です。高女二十三年卒(旧姓小川) 多胡 愛子

高女二十三年卒同期会

川口敏子(旧姓 伊藤) 七月十日(日) 午前十一時より奥多摩のせせらぎの里にある「丹繩」に於て、同期会を開きました。来賓に岸先生をお迎えし、十七名が集まり、思い出話、近況報告に花を咲かせました。

岸先生は今年「喜寿」をお迎えですが、頗るお元気で御年には思えません。久しぶりのお友達もあり、話が弾み楽しい和やかな一時でした。

記念写真のあと併設の松下紀久雄むかし絵美術館や、近くの玉堂美術館を見学したり、多摩川の辺を散策したりしました。川辺のそ

ちこちには糸をたれる釣り人、川面にたちこめる川霧、深々とした木々の緑と、一幅の墨絵の中にとつぱりと浸った感じで、都会では味わえない心のオアシスに時の経つのも忘れた同期会でした。

学園祭の売店報告

昨年十一月二日と三日の学園祭の同窓会の売店は皆様のご協力で二色弁当、サンドイッチ、ポップコーン、パンティストッキング等を販売し、二八四、〇九二円の収益がありました。

このほかに、同窓会特製の校章入りのコーヒーマップとスプーンも販売いたしました。

年会費をお忘れなく

卒業後十年以上の方々に、年会費として千円の納入をお願いしておりますが、毎年千三百人余の方々にご協力をいただき、有難うございます。

会員は年々六百人以上増加し、通信連絡等のコストも上ってきております。一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。なお、今回は昭和五十三年三月

までに卒業された方々に年会費の振替用紙を同封しました。

観劇会のごきぎ

去る、九月十七日(土) 芸術座に於て、東宝現代劇特別公演、向田邦子原作、石井ふく子演出「幸福」の夜の部を観劇致しました。会員皆様のご協力に依り満席でございます。

来年度も五月頃芸術座公演の観劇を予定しております。ご期待下さいませ。

訃報

小田喜貞先生は昨年十一月三日に逝去されました。享年八十三歳。先生は昭和九年に女子経済専門学校教授兼附属高等女学校教諭(国語科担当)として就任され、四十九年三月に中学・高等学校を退職されるまで短大教授、図書館長等を歴任されました。

発行所	東京都中野区本町 6-38-1 〒164
	東京文化学園同窓会
電話	03-381-0196
発行人	湊 くに
編集人	青木 純子
印刷所	篠塚印刷株式会社